

いつも心から感謝しております！

今年も残すところ3日あまりになりました、一年間本当にありがとうございました。

最近マメでしょ？社長通信。

今は社員のみならず、業者様方にもお配りしてまして、これが結構評判いいんですよ。誰ですか、そんなのお世辞に決まってるって言うてるのは！(笑)

今月の10日に喜多方市倫理法人会100社達成記念式典がございました。

普及活動は9月くらいから行われました。もちろん100社達成を目指して。

11月23日現在で、38社。

12月3日、ようやく50社。でも式典まで、わずか一週間。

たまたま友人と一緒にだったので、そんな話しをしたら彼は、『絶対ムリ』って言いました。どういうわけか、私は誰かに『絶対ムリ』って言われると身体がピクンと反応するんです。絶対ムリ？そんなのやってみなきゃわかんないじゃん。

ついに私の心にスイッチが入りました。

関連業者様へ次々お願いしに廻りました。

12月4日、たった1日で7社の入会申し込みを頂きました。

後から聞いたのですが、その日の夜、県の役員会議中、あきらめムードが漂っていた中、私が7社頂いたという知らせに、“ワァッ”という歓声が上がったそうです。

誰もが、よしいけるって思ったに違いありません。

そこからは全会員一丸となって、さらなる普及活動に励みました。

ついに12月10日式典当日。なんと106社達成しました。

今回私からの勧誘に心よく協力して下さった業者の皆様方には深く深く感謝致しております。ありがとうございました。

おかげ様で式典はとても感動的でした。

式典での、山口幹事の涙の経過報告、そして荒川会長の男泣き。

つい私も、もらい泣きしてしまいました。

苦労したものにしかわからない、あの涙の意味。

本当に感動しました。

私の好きな言葉。“成功者はあきらめない”

まったくですよ。あきらめた成功者なんて聞いた事いでしょう。

あきらめなかったら、必ず成功する。思いは叶う。夢は叶う。

まさにそれを体感させて頂いた出来事でした。

倫理法人会の一員でいれた事、ホントに感謝してます。

最後に荒川会長がこんな話しをしてました。  
まだ倫理に興味が無かった頃、遠藤会長、横山会長が、しつこいくらいに勧誘してきたって。それこそあきらめずに何度も何度も。  
ついに根負けして、入会したけど、今では本当に感謝してると。

たぶん荒川会長も私と同じ思いだと思います。  
倫理が素晴らしいのはもちろん。それ以上に素晴らしい仲間に出会えたことが一番うれしかったのではないのでしょうか。  
今が幸せで仕方ない人は、何も変わらなくていいでしょう。  
でももし、もっと幸せになりたいならジッとしてるだけじゃ何も変わらない。  
やっぱ動かなきゃ。動けば変わる。  
私はそう信じて1日1日を楽しんでいます。

さて先日の研修会&望年会はいかがだったでしょうか？  
今回の研修会のテーマは、“感動”でした。  
実は最初に感動させられたのは、私でした。  
12月23日の日曜日にもかかわらず、仕事以外のほとんどの社員が出席して下さいました。  
しかも、開始時間10分前には全員が着席して。  
50人近い社員研修、何人か遅刻したり、ギリギリに入ってきたりするものですが、たったの一人もいない。すっばらしい！  
せっかくの日曜の休みに昼間から研修だなんていったら、普通の会社なら社員が文句いったり不平不満を口にするものですが、誰ひとりそんな社員はいません。  
改めて自分は恵まれてるなあって思います。

そんな研修会。テーマが“感動”なだけに全員泣かせようと思いました。  
レジュメにも書いてたように、最初に宣言していました。  
たいがい先に言われると、泣くわけないって構えますから、まず泣きません。  
たぶん社員さんも、そう思ったはずですよ。  
より泣かせるのが難しくなりました。自分でハードル上げるの好きなんですよ。

結果は...ほとんどの人が泣いてましたね。  
もちろん感動の涙ですよ。  
なかなか自分で感動の涙を流そうと思っても、泣けるものではありません。  
研修の最後、みんなに感想レポート書いて頂きました。  
ほとんどの人が感動されたようです。  
それを読んで、また私が涙ぐんで。

以前も書きましたが、読んでない方もいると思いますので、年末年始ということで、神様のお話で今年の締めくくりとさせていただきます。

そもそも神様って本当にいるの？っていう人がいます。

あたり前だけど、いるに決まってんじゃない。

でも信じない人って、見たこともないし、会ったこともないしって、屁理屈をいう。

なんのために神社の神殿に鏡があるかご存知ですか？

普通の家庭でも神棚に鏡がありますよね。

あの鏡をのぞくと神様が見えるようになっていきます。

それをのぞくと、たいがいは自分の顔が映るので、『これは神様じゃない』と言う人がいるけれど、実はその鏡に映っている人が神様なんです。

それでも、『これは私の顔だ』と言い張る人がいます。

それはなぜかというと、『我』が強いからなんです。

『かがみ』という言葉は、真ん中に『が』が入っています。

自分しか見えない人は、『我』が強いんです。

『我』が強いと『かがみ』のまま自分が映るんだけど、『我』を抜くと『かみ』という言葉になって、映っている人が『神様』になる。

自分のことしか考えないというのは、どういうことかということ、人間には食欲とか性欲という『欲』があるんだけど、これを原始本能といいます。

むずかしい話をする、脳は三層構造になっていて、一番下に爬虫類(はちゅうるい)の脳、次にサルの脳、一番上に人間の脳というふうに重なってるんだけど、人間の脳というのはものすごく神に近いんだよ。

爬虫類脳が食欲とか、性欲をつかさどっているんだけど、四六時中ご飯のこと考えていなくても、ちゃんとおなか減るし、トイレにも行くし、基本的なことはあまり考えなくてもいいようにできている。

自分のことばかり考えているのが、『我』がある状態ということなんだよ。

『自分が、自分が』と言って爬虫類脳で生きてると、『我』が強いから、『この人が神なんだよ』と言っても信じられない。

神らしいことはしたことがないし、する気のない人間が神に見えるわけがない。

ところが、そういうこと以外に、自分はどうやったら人の役にたてるだろうか、自分がブスとした顔してたら、人がいやな思いするだろうな、悲しい顔をしていたら心配するだろうなと、自分のことを忘れて、人のことを考えるようになると『我』が抜ける。

愛のある言葉で話すとか、笑顔でいるとか、人のために自分が無理をしないのでできることを考えていたら、その人がやっていることは神に近いんだよ。

人様のために働くことは、神様のお手伝いをしていることだから、神様に近づいていく。

人様が喜ぶこと、世の中が喜ぶことをただすればいい。

神様に近いことをしていれば、自分の顔が神になって、あなたの中に神がいるようになる。

御神酒(おみき)というのがあるよね。これは三つの喜び“お三喜(おみき) ”、『うれしき』『たのしき』『ありがたき』ということで、これさえあげてれば、お酒なんてあげなくていいの。

『うれしいね』『ありがたいね』『たのしいね』という御神酒をあげていれば幸せになるし、それを実際にやれば、もうその人は神様なんだよ。

鏡に映るのは、私の顔。これが神様だとすると、いつもキレイにしてなくちゃ。

神に仕える巫女(みこ)さんは、真っ白な着物を着て、朱の袴をはき、手には金の鈴を持っています。今でこそ、みんな華やかな色の服を着るけど、昔の人からみたら、巫女さんとはとんでもなく、きらびやかで華やかな存在だったに違いありません。

毎朝、きちんと顔を洗うってことは神様を磨いていることなんだ。服にはピカピカ光るものつけて、華やかにしよう。人の役にたつことを考えて愛のある言葉を話すようにしよう。

『我』を捨てて、笑顔を忘れず、お宮としてちゃんと立っていよう。

それが私のお役目なんだ。まだまだ修行中の私です。

この社長通信がみなさんの役にたったら、本当に本当に幸せです。 感謝してます。

今年もみなさまには大変お世話になりました。

来年もどうぞ宜しくお願いいたします。

平成 19 年 12 月吉日

株式会社 杉原建築設計事務所

代表取締役 杉原 吉朝